

「京都の歴史と文化 映像ライブラリー (YouTube チャンネル含む)」運用ポリシー

京都市文化観光資源保護財団

1 アカウント名・URL・管理者

(1) 財団ウェブサイト：京都の歴史と文化 映像ライブラリー

京都市文化観光資源保護財団>学ぶ>見る（文化財についての動画を紹介）> 映像ライブラリー
<<https://www.kyobunka.or.jp/library/>>

(2) 利用するソーシャルメディア（YouTube）

アカウント名（チャンネル名）：公益財団法人 京都市文化観光資源保護財団
<<https://www.youtube.com/channel/UCXy3ANK2jhVVRjG5AFJMRvA>>

(3) アカウント管理者は京都市文化観光資源保護財団とする。

2 発信の目的

過去の映像、記録資料をいつでもどこでも簡単にみられる環境を整えることで、①関係者が自らの歴史や伝統を再認識する機会が創出される、②市民が映像を見る機会が増えることで京都の歴史と文化への理解者の増加につながる、③小中学校の地域学習の教材として活用されやすくなる、④大学における京都学関連の授業で使用されやすくなる、などの効果を期待して発信する。

3 発信情報の内容

ア 「京の郷土芸能まつり」公演：公演京都市文化観光資源保護財団が、文化財保護法施行20周年記念として開催してから、毎年恒例の事業として41年にわたって（京都会館が閉館する平成22年度まで）開催してきた「京の郷土芸能まつり」公演の記録等。

イ まつりと行事・習俗：京都市が昭和40年代から製作し、上映会開催やDVD等貸与をしてきた「伝統行事・芸能等記録映画」等。

ウ 民俗芸能・伝統芸能：同上。

エ 神社仏閣・史跡・有形民俗文化財：同上。

オ 京の“れきし”：京都の歴史や文化を構成する様々な事象について、古文書や絵図などの歴史資料を用いて紹介する教養講座の映像。京都市歴史資料館が作成し、館内映像展示室で公開していたもの。

カ 京の“むかしのニュース”：京都市が広報活動の一環として製作し、映画館で上映した「京都ニュース」のなかから、テーマをもうけて編集した映像等。京都市歴史資料館が製作し館内映像展示室で公開していたもの。

4 運用の方法

- (1) 動画に対するコメントは投稿できないようにしているが、利用者からの意見に対しては誠実に対応する。すぐに回答できない場合はまずその旨を回答し、後日、正式に回答するなど、利用者の視点に立った対応を行う。
- (2) 問合せについては、以下の担当別に対応する。

ア 「京の郷土芸能まつり」公演

公益財団法人京都市文化観光資源保護財団 TEL：075-752-0235

イ まつりと行事・習俗

ウ 民俗芸能・伝統芸能

エ 神社仏閣・史跡・有形民俗文化財

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課 TEL：075- 222-3130

オ 京の“れきし”

カ 京の“むかしのニュース”

京都市歴史資料館 TEL：075-241-4312

5 運用の留意点

- (1) 動画を利用した情報発信であるため、個人情報、肖像権・著作等について十分配慮する。
- (2) 原著作者に敬意を払い、動画内において、製作者、制作者、協力者（団体）を明示する。
- (3) 他のソーシャルメディア投稿を引用したり、他のウェブサイト等へのリンクを掲載する場合、利用者は「財団の投稿である」「財団のウェブサイトである」と捉える可能性があるため、慎重に行う。
- (4) 運用ポリシーに明示した、発信情報の内容、発信の目的、運用の方法等は、利用者に周知するために適宜掲載する。特に利用者の理解を得るためには、可能な限り最初に表示されるページに掲載する。

6 個人情報保護について

個人情報の収集、利用、管理については「公益財団法人京都市文化観光資源保護財団個人情報保護規程」に準じて適正に取り扱う。

7 知的財産権の帰属

「映像ライブラリー」ページ (YouTube チャンネルを含む) に掲載している個々の情報 (テキスト、画像等) に関する知的財産権は、京都市文化観光資源保護財団、京都市又は原作者に帰属する。また、内容について「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできない。

8 免責事項

- (1) 当財団は当ページ (YouTubeチャンネルを含む。以下同じ。) から発信する情報の正確性、完全性については細心の注意を払っているが、その全てを保証するものではない。なお、制作当時における情報は歴史資料として評価し、内容の改変等を行っていない。
- (2) 当財団は、利用者が投稿した情報、又はリンク等により移動した第三者が運営するウェブサイトの情報等について、一切の責任を負わない。
- (3) 当財団は、利用者が当ページを利用したこと、もしくは利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、一切の責任を負わない。
- (4) 当財団は、当ページの利用に関して、利用者間もしくは利用者と第三者間にトラブルや紛争が発生した場合であっても、一切の責任を負わない。
- (5) 当ページの利用方法、技術的な質問、又はシステム状況等に関しては一切答えられない。
- (6) 当財団は、予告なく掲載した情報を変更又は削除する場合がある。
- (7) 当財団は、予告なく運用ポリシーの変更や運用方法の見直し又は運用を中止する場合がある。

附則

この運用ポリシーは、令和4年2月18日から施行する。

附則

この運用ポリシーは、令和4年3月10日から施行する。